

No.	カテゴリ	説明	対処内容
1	UIオートメーション	UIオートメーションにおいて、コントロールパスの一部が毎回変化してしまう対象に対しても、継続して動作できるようにしてほしい。	UIオートメーションのコントロールパス編集タブに「"*"を使った曖昧指定を有効にする」チェックボックスを追加しました。チェックを付けると、コントロールパスを構成する一部の値(idやname)に対し、「*」を使った曖昧指定が行えます。チェックボックスのデフォルト値はオフです。 詳細は同梱のWinActor操作マニュアル(WinActor_Operation_Manual.pdf)「4.9.1 UIオートメーション 表 4-115 UIオートメーションのプロパティ (コントロールパス編集タブ)」をご参照ください。
2	Python実行	スクリプト実行のVBScriptでは、処理を途中で強制終了させるための関数として WScript.Quit が存在するが、Python実行では WScript.Quit をそのまま置き換えられる関数がないため、追加してほしい。	WinActor独自関数(Python実行)に、Python実行の処理終了関数 winactor.exit() を追加しました。
3	外部サービス連携	ツールメニューから「Googleサインイン」を選択し認証情報を設定する際、POP3Sプロトコルを利用できない場合にサインインに失敗してしまう。 Gmailの送信機能のみ利用したい場合があるため、POP3Sプロトコルを利用できない場合にもサインインに成功するようにしてほしい。	Google連携用の認証情報を設定する際、POP3Sプロトコルを利用できない場合にもサインインできるように対応しました。 なお、ツールメニューの「Googleサインイン」は、Ver.7.6.0よりツールメニューの「外部サービス連携」へ管理場所を変更しています。 詳細は同梱のGmail送受信シナリオ作成マニュアル(Manual_by_Function/WinActor_Gmail_Scenario_Manual.pdf)の「2. 認証情報の設定」をご参照ください。
4	起動／ファイル関連付け	.ums7ファイルを初回選択時に手動でWinActorに関連付けた場合でも、起動中のWinActorでシナリオファイルを開くようにしてほしい。	.ums7ファイルを初回選択時に手動でWinActorに関連付けた際に、起動中のWinActorでシナリオファイルを開くことに対応しました。